

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年11月20日(月)  
午後1時40分から午後2時3分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 谷平敬子 (副委員長) 須藤智子  
(委員) 梅村均、水野忠三、大野慎治、塚崎海緒、木村冬樹
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、主任 丹羽亮二
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

谷平委員長：2月頃に再度行政調査に行きたいと考えている。行き先と内容を決めたい。

水野委員：日程は決まっているのか。

大野委員：先方の都合もある。12月中に決めるのではないか。

谷平委員長：そのようにしたい。11月30日までに行き先と内容を私か副委員長が事務局に提出してほしい。

大野委員：東京は難しいか。関西がよいか。

梅村委員：予算は3万7千円くらいか。

事務局：視察の予算残金は一人あたり42,980円。宿泊代と日当を差し引くと、21,980円が往復交通費として使用できる。

谷平委員長：関西は行ける。この予算の範囲で考えていただきたい。

水野委員：日本海側も行ける。

木村委員：冬なので日本海側へ行くのは大変かもしれない。近隣で日帰りでもよいと思う。

事務局：日程は次回以降という話だが、行政視察の受入れが入る可能性がある。

2月15日以降は3月定例会に関する会議が始まる。また、2月14日は商工会との意見交換会がある。候補日を決めておいたほうがよい。

谷平委員長：では1月30日～31日でいかがか。

木村委員：月末を避け、2月1日～2日を希望する。

谷平委員長：では第1候補を2月1日～2日とし、第2候補は1月30日～31日とする。

事務局：2月2日は正副議長の会議に随行するため、随行は事務局長以外となる。

木村委員：では1月30日～31日を第1候補にしてもらってよい。

谷平委員長：2月8日～9日はいかがか。

大野委員：その日程は厳しいのではないか。

塚崎委員：私は差し支えない。

木村委員：では1月30日～31日か2月8日～9日のどちらかでいかがか。

大野委員：できれば1月30日～31日にしてもらいたい。

谷平委員長：第1候補を1月30日～31日、第2候補を2月8日～9日とする。

場所と内容も11月末までに決定することとする。次に行政視察の報告書について。正副委員長に一任してもらってよいか。

木村委員：委員会代表質問をやる予定もないので、一般質問で消防団のことを質問しようと思っている。それに関連する報告書は書いてもよいが。

谷平委員長：ではお願いする。

水野委員：一般質問で扱いたい委員は他にもいるのか。

梅村委員：委員会として代表質問や政策提言はしないということでよいか。

谷平委員長：現時点では予定はない。

水野委員：ごみの個別収集について一般質問したい。

谷平委員長：では報告書もお願いする。

水野委員：どれくらいの分量か。

木村委員：論文のような長さは必要ない。分かりやすく短く。

須藤副委員長：まちなか商店リニューアル事業は私が一般質問する。

木村委員：全国的にも優れた制度だった。

谷平委員長：主権者教育についてはいかがか。

大野委員：厚生・文教常任委員会に近い内容になるので一般質問にはしづらい。

木村委員：一般質問はせず、委員長が報告書を作成してはいかがか。

谷平委員長：そのようにする。

水野委員：書式はあるか。

木村委員：ない。

大野委員：ホームページに掲載されているので、それに準じて作成するとよい。

谷平委員長：12日までに報告書の提出をお願いする。

木村委員：主権者教育の報告書は「投票率向上のために」という文言を記載してほしい。教育ではなく選挙に関連した視察ということを示す必要がある。

水野委員：報告書は委員

長に先に提出しなくてよいか。

木村委員：事務局に提出したものを委員長がチェックすればよい。

谷平委員長：11月30日までに視察先の提案をお願いする。

梅村委員：11月30日に案が出てきたら、早めに行き先を決めて打診したほうがよい。

谷平委員長：では12月4日の12月定例会後に協議会を開催する。

(2) その他

なし

8 その他

なし